

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会
 電話 44-3006
 FAX 44-3029

大宜味村からミネソタ州へ・・・

祝 照喜名流風さん、セントジョーンズ大学合格!!



向陽高校3年の照喜名流風さん（江洲出身）がミネソタ州のセントジョーンズ大学に合格。

3月10日（土）、北中城村立中央公民館において、セントジョーンズ大学合格通知伝達式が行われました。

流風さんは昨年の夏休み中学生・高校生海外短期留学プログラムに参加。アメリカの文化を肌で感じ、何事にも意欲的に取り組み、充実した日々を送りました。留学最終日、セントジョーンズ大学のデビット・ベネット博士から卒業後にセントジョーンズ大学への留学のオファーがあり、選考試験として流風さんは自分のエッセイを書いて大学に送り見事合格。

昨年度の短期留学に参加した北中城村の安里力くんともに参加者の中で初のセントジョーンズ大学への留学生となりました。

この日の伝達式ではエッセイを日本語と英語、2ヶ国語で発表。英語力と留学への高い意欲を感じさせました。流風さんの海外での今後の活躍に期待します。

あじま～編集員がゆく③ 「猪垣大保ダムめぐり」 with 塩屋小

①、②はあったのに、その後なかなか続かなかった「あじま～編集員がゆく」。書いていた本人も忘れそうになりましたが、今回は塩屋小で猪垣めぐりがあるとのことを耳にし、無理やり(!?) 同行させていただきました。

2月27日、この日はあいにくの雨。予定していた猪垣めぐりはできず、大保ダム見学へ行くことに。



いよいよ、出発。まずは橋の上からダムを見ます。この日のダムはほぼ満水に近い状態。ところどころに見える新緑や白い花を咲かせるクロバイに春を感じます。



みなさんその道のプロ!! 右から新城和治先生、米須邦雄先生、村山望先生、市田豊子先生。



続いて本ダムへ。ダムの上から魚道を見ます。魚道はダムができてからも、魚たちが川を上って来られるようできた道です。大保ダムでは自然に配慮した様々な工夫がされています。



おやおや、何だか人だかりが...



側溝にリュウキュウカジガガエルの卵がありました。

卵があった近くには、何かに轢かれたメスの死体もありました。このメスは卵を持っていました。森を切り開き、道を作ったことで、やんばるの生きものたちは交通事故にあうようになったことを教えてもらいました。

ぶながや館に到着。ダムの役割のビデオ鑑賞した後2学年ずつ分かれて講義開始。



最後に新城先生は「今日はやんばるの自然とダムの両方を見た。ダムは人が幸せになるため人が自然を壊して作ったものなので壊れたままにしておくのではなく、少しでも戻す努力をすることが大事だ」と教えてくれました。猪垣めぐりはできなかったけど充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか?

～感謝の心でいただきます!! 最後の給食～

3月9日(金)、大宜味中の3年生が「最後の給食」を味わいました。最後の給食、卒業祝いの気持もこめて、この日の3年生のメニューは通常のメニューに加えて、からあげや海老フライなど子どもたちの大好きな品々が盛合されたオードブル、ゼリーやフルーツの盛り合わせも加わった特別メニュー。

好きなメニューを好きなだけとれるよう、バイキング形式で配膳。終始笑いが絶えず仲の良い3年生。このメンバーで食べる最後の給食はいい思い出となったのではないのでしょうか。

大宜味中学校



※給食センター職員からのメッセージもついています。



楽しみながら選びます。



大満足♪



※後ろでは先生が作った写真クリップも流れています。

番外編 あじま～編集員が行く 給食センター

今回、給食センターの中も少しだけ見学させていただきました。



大量のイナムルチ



学年、人数から計算し、一缶、一缶、計量して注ぎます。魚や肉などは大きさ、グラム数を変えているそうです。



大きな鍋で天ぷらを揚げます。



本日の特別メニュー。オードブルの用意に大忙し。



できあがった給食は各学校のコンテナに入れて運びます。



スライサー

学校給食を支える道具たち



大きい鍋

できるかぎり地元の食材を使うことを心掛け、旬のものを取り入れ、栄養バランスが整った大宜味村の給食。毎回工夫をこらしたメニューが出されており、給食が楽しみな児童・生徒も多いのではないのでしょうか。栄養士の北城睦美先生手書きの献立表も手作りならではの温かみがあり、大宜味子どもたちへの愛を感じました。「残さず食べる」これが睦美先生や給食センターの方々への一番のお礼となります。みんな、完食目指して頑張ってください!!

村内のホッと活動をご紹介します♪

大宜味人のホッと する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま〜」担当：倉持までご連絡ください。

体育系部活動入部者全員 力走

平成24年3月17日（土）、今帰仁村総合運動公園周回コースにおいて第13回部活動対抗駅伝大会が開催され、大宜味中学校からも部活動のメンバーが出場し、大健闘の力走ぶりを見せました。

大会前の放課後、全員が津波部落まで1.5kmコースをペース配分しながら走り、練習を重ねました。個々のタイムを毎回取り、各部の先生も「上位の方はほぼ安定した走りをしているので、大会当日も力を発揮するのではないかと期待していました。

女子バスケットAチームは花の一区を吉田真歩が務め、崎浜美波里、高江洲未来、稲福菜々、大城沙采とともに58チーム中11位と大健闘。男子は一区で10位に食い込むほどの力走をみせた金城順希、大城翔平、宮城大輔、吉本智稀、我那覇匠哉の野球部Aチームが100チーム中15位と健闘しました。

顧問の上間寿樹先生、砂川智史先生、宮城静香先生、屋比久健太郎先生は「1年生を中心にしたチームなので今後が楽しみ」と話してくれました。

吉田春子



本当にすごい!!!津波っ子ががんばったね(^ ^)

平成23年度、全校生徒32名が県のコンクールやJ A、新聞社主催の図画・作文・書道・読書感想画・感想文・版画・工房等で個々の児童が何らかの賞を受賞しました。

少ない人数でもやればできる事を全校生徒が味わった賞だったと思います。

先生方の指導はもちろんの事、夏休みに田嘉里公民館で開催された宮城健先生による絵画の指導の賜だと思えます。書道に関しては講師の仲田博先生による夏休みや授業での基礎・基本の徹底指導の取り組みの甲斐もあったのではと思えます。本当に久しぶりの全児童の受賞。感慨深いものです。

また、ここ10数年前から津波出身で中部にお住まいの比嘉弘子さんから毎年この時期になると、津波の子どもたちのあらゆる面での頑張りが高く評価され、全児童への学習用具が届けられます。こんなありがたい事はあまり例がないと思えます。全児童が常にワクワク言葉が多くなると、全てに影響してくるのかな?学校任せではなく家庭や地域の方々の情熱や声かけが全てに関わっているような気がします。良老人会の道路沿いの草花の世話を毎日見ているからきっと何か感じるものがあるのではないのでしょうか。良いことは皆さん、大いに広めていきましょう。

君が伸びれば友もそれ以上に伸びることを信じて、頑張れ津波っ子!

吉田春子



初めてがいっぱい会津の文化に触れた旅

～体験の翼報告会～

3月8日、村農村環境改善センターにおいて、体験の翼報告会が行われました。報告会では山城萌恵さん、山川はるひさん、宮城七珠さんが団員を代表し、体験発表をしました。3名の発表の内容を抜粋（一部省略してあります）して紹介したいと思います。



山城萌恵さん

初めて体験の翼に参加し、心に残る思い出が5つできた。1つ目は飛行機から見た雪。町一面全部真っ白な雪でびっくりした。2つ目はホームステイ先の家族に会津の伝統料理を食べさせてもらったこと。具がたくさん入っていてとても美味しかった。3つめはスキー体験。難しかったけど頑張った。だんだん滑れるようになり、寒かったけど嬉しかった。4つ目は雪まつりではエイサーを披露したこと。寒くて手と足が痛かったけど終わった後は「やってよかった」という気持ちでいっぱいになった。5つ目は、アスカさんからキーホルダーをもらったこと。「気をつけて帰ってね」と言われてもらったキーホルダーのお守りはとても嬉しかった。最後にホームステイ先の家族のみなさん。スキー体験させてくれたり、おいしい料理を食べさせてくれたりしてありがとうございました。本当に感謝しています。

体験の翼に参加して心に残ったことが3つある。

1つ目は沖縄では決して見ることでできないきれいな雪景色が見れたこと。山や木、道路、家などに雪が積もっていて、とてもきれいで感動した。

2つ目は、ホームステイ先で楽しく過ごせたこと。かまくらを作ったり雪だるまを作ったりして遊んでとても楽しかった。2日目には玲鶴ヶ城に連れて行ってもらったり、猪苗代湖でたくさんの白鳥をみせてもらったりした。夜は温泉にも連れて行ってもらった。ホームステイ先の方々にたくさんのお話を体験してもらい、とても楽しく過ごすことができた。また、西会津の郷土料理にもふれることができ、沖縄とは違った食文化を学ぶ事ができたのでとても良かった。

3つ目は、みんなで東京見学をしたこと。国会議事堂の中はとても広く、大理石やじゅうたんなどが敷き詰められて豪華だった。その後水上バスに乗り、隅田川下りもした。もうすぐできる東京スカイツリーも見ることができ、その高さにびっくりした。また、浅草では雷門も見れて良かった。この体験の翼の交流に参加していろいろ学べたことは私の財産になった。西会津の友達とはこれからも交流を続けていきたい。



山川はるひさん



宮城七珠さん

新潟空港を出ると、雪がたくさん降っていた。雪を見るのは初めてなのでものすごく感激した。歓迎式では久しぶりに会ったホストファミリーと「こゆりちゃん」と一緒に記念撮影をした。そのままロータスインに行ってみんなで温泉に入った。とても楽しかった。

家に帰ると夕ごはんが準備されていた。その日の夕ごはんは西会津の郷土料理だったとてもおいしかった。その日はミウちゃんのお父さんとキョウカちゃんと三人で夜遅くまで西会津や沖縄の話たくさんした。

次の日は鶴ヶ城に行き展望台から会津町を見た。その後、ソースかつ丼やあまじゅうを食べた。とてもおいしかった。

2日目はキョウカちゃんの家に行った。家にはおばあちゃんがいて話しかけてくれたけど会津の言葉でしゃべっていたのであまり意味がわからなかった。3日目は雪国祭りでエイサーを披露した。エイサーが終わった後、キョウカちゃんと珠音たちと一緒にいろんな所に行き、とても楽しかった。この体験学習で楽しい思い出がたくさんできた。

この報告会で団員たちが貴重な体験をしてきたこと、西会津の友達ととても楽しい時間を過ごしたことがわかりました。体験したことはいつまでも心に残ります。今回の体験はみんなの財産になったことでしょう。

平成23年度 卒業式・修了式

3月10日に大宜味中学校、16日に大宜味幼稚園、22日に村内4小学校で卒業式・修了式が行われました。義務教育最後の中学3年生。涙ながら読んだ夢乃さんの答辞や、言葉に詰まりながら贈る言葉を言う担任の健太郎先生の姿に会場ももらい泣きました。

昨年の入園式では名前を呼ばれても「たまご～」と不思議な返事をしていた園児たちも今ではしっかりお返事できるお兄さんお姉さんに大変身。式の最後に子どもたちから先生方へ花のプレゼントがあり、嬉しいサプライズに先生たちも感激。涙の修了式となりました。

6年前、大きなランドセルを背負っていた児童たち。卒業式で自分の夢を語る姿や門出の言葉を述べる姿に保護者、先生はもちろん、地域の方々も児童たちの成長に目を細め、温かい拍手を送りました。

4月からはそれぞれ新しい生活が始まります。期待と不安で胸がいっぱいのことだろうと思いますが、勉強や部活動など何事にも意欲的にチャレンジして楽しい学校生活を送ってください。ご卒業・ご卒園おめでとうございます。



塩屋小学校

宮城 元 島袋千成 名嘉翔也 前原信之助
宮城七珠 島袋花菜 宮城みな穂
男子4名 女子3名 計7名



津波小学校

平良勇志 山川元樹 金城裕人 金城成人
男子4名



喜如嘉小学校

嵩原久広 大嶺健斗 仲原広大 山城健斗
山上龍太 稲福珠音 金城ありさ
福地楽 山城萌恵 男子5名 女子4名 計9名



大宜味小学校

崎山雷斗 米須章仁 照屋碧 島袋淳史 山川はるひ
男子4名 女子1名 計5名



大宜味中学校

山城光 知念伸 仲原篤紀 山川椋之介
照屋潤 宮城和馬 山川恵介 志良堂大稀
田場晋 尾久雅也 宮城賢樹 山城真紀
知念美羽 比嘉黎美 喜納理沙 仲井間紘
宮城怜音 崎山楓 米須李花 新城夢乃
上原真子 吉田幸乃 宮城真桜 山城加奈子
宮城絵理香 宮城沙衣 具志堅雅子 山川華蓮
男子11名 女子18名 計29名



大宜味幼稚園

平良真聖 川村 波 照屋舜人
大城優音 宮城和奏 玉城清菜
川上 鈴 島袋鈴菜 真栄田楓夏
高江洲愛 玉城結衣 平良優奈 仲原望愛
男子3名 女子10名 計13名



目指すは大宜味中学校！いざ出航！！

～塩小卒業生の門出～

3月22日（木）午後4時半、塩屋小の卒業生が、大宜味中学校へ向かいドラゴンボートを漕ぎだしました。

卒業記念として行われたドラゴンボート。この春から通う中学校へ一足早い船出となりました。



出航前には塩屋富士に登頂し、クガニ岳の頂上にオレンジ色の旗を立てています。山登りの疲れも見せず、元気な子どもたち。乗った直後はぐらぐらして「危ない、落ちる～！！」と騒いでいましたが、さすが塩屋っ子、すぐにコツを掴んだよう。いよいよ出航です。出航前は風もあり、心配していましたが海は結構穏やか。順調に漕ぎ進めます。

中学校前の海岸では…



先生方、ソフトテニス部や野球部の先輩たち、保護者の方々が集まり、7名の到着を今か今かと待ちかまえています。



アヤ子教頭先生から「4月からみんなが中学校に来るのを、先生方も先輩たちも楽しみにしています。元気に通ってほしい。」と激励の言葉をもらいました。

この後、車で帰るはずでしたが、そのままボートに乗り込むみんな。塩屋小に向けて再び漕ぎだしました。で～じ元気。

4月から始まる中学校生活。きっと、このパワーを発揮させてくれることでしょう。



最後に當銘先生が落ちるといえる（お決まりの??）ハプニングもありましたが、無事到着。大歓迎をうけます。

村内の芸術家たちが大集合！！

～第38回おおぎみ展～

2月24日～26日、津波小学校体育館にて第38回おおぎみ展が開催されました。

今回は大宜味村出身で、昨年12月県の教育委員に任命された宮城奈々さんが経緯の「虹色地両面浮花織」（第63回沖展賞受賞作品）を出展され、一層華やかな展示会場となりました。

初心者からその道のプロまで一人一人が主役のおおぎみ展。子どもたちの力作や老人会のどこか温かく、手の込んだ作品、村内の芸術家たちの趣向をこらした逸品など数々の作品が集まりました。



会場には連日、村内外からの多くの人々が訪れ、子どもたちの作品に目を細めたり、芸術品の数々に見入ったりしながら楽しい時を過ごしました。



ホッピングセレモニーを飾ってくれた大宜味幼稚園生。



テープカットにも挑戦

勉強の後は甘いごほうび！？～大宜味小3、4年生黒糖づくりを体験～

3月14日（水）、大宜味小の3、4年生がサトウキビを搾って黒糖づくりに挑戦しました。

3、4年生は社会の授業でサトウキビからさとうを作る「せいとう法」を沖縄に広めた儀間真常さんについて学びました。サトウキビも黒糖も身近なものだけれど、実際作り方を見たことがない児童も多く、学校の敷地内にキビを植えることから始めました。この日は花はまだ咲いてなく、少し早い刈り取りとなりましたが、金城さんをはじめJAの職員の方々が急きょ駆けつけてくれ、児童たちに黒糖づくりを教えてくださいました。



刈り取ったキビは葉を落とし、圧搾機にかけ、搾り汁を大鍋で煮つめます。授業の途中から1、2年生も参加し、圧搾機でキビを搾るお手伝いをしてくれました。キビを煮つめていくと「かぼちゃみたいなにおいがする～!!」とはしゃぐみんな。どんどん煮つめると、アクもいっぱい出てきます。丁寧

にアクをとっていき男子。いい旦那さんになれるはず。キビの汁は酸性なので石灰を加えてアルカリ性にしないと固まらないこと、糖度が20度にならないときれいな黒糖にならないことを金城さんから学びました。

教科書で勉強するだけでなく、作業したり、味わったり体験を通して学ぶ授業は頭にも心にも残るもの。最初から最後まで自分たちの力で作った黒糖。その味は格別だったのではないのでしょうか？



第34回 塩屋湾一周トリムマラソン大会

開催日：2012年4月15日（日）
会場：塩屋小学校

当日の日程

- 7:30 受付開始
- 9:00 開会式
- 9:30 5kmスタート
- 9:35 9.5kmスタート
- 11:10 3kmスタート予定
- 12:30 競技終了宣言
- 13:00 表彰

※駐車場は塩屋漁港へお願いいたします。



村内小中学校・教育委員会 異動者・退職者

喜如嘉小	校長	金城 聡先生 (名護中へ)	大宜味中	教頭	吉田アヤ子先生 (高江小中へ)
校長	松田和則先生 (崎本部小へ)	教諭	佐久本晴美先生 (屋部中へ)		
教諭	島川千佳先生 (久志小へ)	教諭	宮城令子先生 (退職)		
養護教諭	瑞慶山涼子先生 (大宜味中へ)	教諭	宮城ひろえ先生 (金武中へ)		
事務主任	仲村 正先生 (金武小へ)	教諭	宮城 健先生		
特別支援	宮城恵子先生 (大宜味中へ)	教諭	屋比久健太郎先生 (羽地中へ)		
大宜味小	教諭	新城和代先生 (屋部小へ)	司書	上間寿樹先生	
教諭	島袋あや先生	特別支援	安里郁江先生 (大宜味小へ)		
司書	當山政子先生 (大宜味中へ)	教諭	宮城美樹先生		
特別支援	平良紗也加先生	教諭	望月香織先生		
津波小	校長	山入端きよみ先生 (伊江中へ)	教諭	砂川智史先生 (久辺中へ)	
教諭	有銘兼一先生 (中川小へ)	事務	照喜名恵子先生		
教諭	新城 愛先生 (名護小へ)	教育委員会			
特別支援	邊土名えりな先生 (大宜味小へ)	課長	大嶺 実さん (総務課へ)		
塩屋小・津波小	学習支援	主事	藤田元也さん (企画観光課へ)		
	當眞結先生 (源河小・古宇利小へ)	主事	前田悠嗣さん		

今回は大勢の異動がありました。これまで大宜味村の教育に尽力していただき、ありがとうございます。新天地での活躍をお祈りしています。

平成24年度 海外短期留学生募集のお知らせ

海外留学を考えている方、また本気で英語を学びたいと考えている方チャンスです！

- 募集期間：平成24年4月5日（木）～5月8日（火）
- 留学期間：平成24年7月13日（金）～8月2日（木） 21日間
- 派遣先：米国ミネソタ州セントジョーンズ大学
- 派遣対象：大宜味村出身の中学生・高校生 計3人
- 費用：一人当たり55万円＝旅費（47万円）＋引率経費（8万円）
村からは一人当たり30万円＋引率経費8万円を負担。
個人負担は17万円になります。



「私になんて無理!!」なんて言わないで。やってみなくちゃ始まらない。少しでも興味があるなら、まずは説明会にお越し下さい。

説明会：平成24年4月16日（月）午後7時～ 役場第2会議室

沖縄県民なら知ってて当たり前?? うちな～クイズ

- Q1. 「6.30」と言えば健やか大宜味村。では「7.30」と言えば?
- Q2. 「5.15」と言えば、沖縄復帰記念日。では「4.28」と言えば?

※答えは次号発表します。

～ 公民館講座開催のお知らせ～

◆カメ仙人の「ウミガメのはなし」◆

日時：4月25日（水） 18:30～
場所：村農村環境改善センター
講師：米須邦雄



内容：15年以上、大宜味のカメを見続けてきた大宜味のカメ仙人こと米須邦雄さんによるウミガメのはなし。
調査を続けてきたからこそわかる、大宜味に上陸するウミガメの傾向など大宜味村民なら必見?必聞?のはなしが盛りだくさんです!!



ドゥーキユイムニー（独り言）

友寄景善

三月は、卒業式とそれに伴う別れの季節でもある。高校、中学校、小学校の卒業式があった。式の途中、目を真っ赤にして涙ぐむ卒業生や涙を溜めた保護者、恩師の姿はいつもの光景である。つい、もらい泣いて目頭が熱くなり、涙をこらえるのに苦労するが、人目がなければ一緒に涙する思いである。式場を一時真っ暗にできれば、思う存分泣けるのではと、勝手に思う。

涙は、学校や恩師そして親や支えてくれた人々への感謝の気持ちと、特別な思いが相まって突然やってくることもある。はばかりなく涙する者は美しい。卒業の次に待っているのは、新学や就職のための別れである。故郷を離れ県外で暮らす者も多いが、勉強のため外国へ旅立つ者もいる。

三月下旬、那覇空港は見送りに訪れた大勢の若者でごった返していた。記念品やお土産、色紙を送り、記念撮影をするグループ等、最後の別れ場所となる保安検査室前は、涙ながらの惜別光景であった。かつて那覇空港ビルの屋上には、見送りデッキがあり、離陸する飛行機に手を振りながら見送ったが、今は見られない。

四十一年前、中学校卒業と同時に県外で集団就職する友を那覇の港で見送った。互いに投げ合った紙テープを握りしめ、『蛍の光』の曲が流れる中、岸壁からゆっくりと離れる客船を追いながら、互いに握りしめたテープが切れるまで別れを惜しんだ。

成長のため、別れは天から課せられた必須科目かもしれない。

今月の生きもの

ヤツガシラ（ヤツガシラ科）

頭に大きな冠羽があり、とっても特徴的な姿は一度見たら忘れられません。沖縄には春秋の旅鳥として見られます。…が、長く留まらないため、なかなかその姿にお目にかかれることはありません。

今回は大宜味に4日間もいたそうです。私は5日目にいき、見られませんでした(T_T)

世界で一科一種の稀種です。



撮影：吉田春子

～編集後記～

教育委員会に来て早一年が経ちました。入った時の意気込みはどこへやら…環境に慣れてきたのと同じ時に力が抜けてきています。決して歳のせいではありません。「初心忘るるべからず…」フレッシュな気持ちを取り戻して、今年度も頑張りたいと思います。

4月の行事予定

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 2日（月）区長会 | 17日（火）全国学力・学習状況調査 |
| 3日（火）教職員辞令交付式 | 19日（木）村婦人会総会 |
| 6日（金）春の交通安全出発式 | 20日（金）鯉のぼり掲揚式 |
| いぎていぐま展（～8日） | 23日（月）家庭訪問 大小（～25日） |
| 9日（月）新任式・始業式（小・中） | 家庭訪問 津小（～24日） |
| 中学校入学式 | 24日（火）家庭訪問 塩小（～25日） |
| 10日（火）4小学校入学式 | 26日（木）村生徒指導連絡協議会総会 |
| 11日（水）幼稚園入園式 | 27日（金）春の遠足（幼） |
| 13日（金）村生徒指導連絡協議会① | P T A 総会（4小） |
| 15日（日）第34回塩屋湾一周トリムマラソン大会 | 29日（木）昭和の日 |
| 16日（月）海外短期留学説明会 | 30日（月）振替休日 |

